

教員免許状更新講習(選択領域講習)のご案内

「伝え合い、理解し合う集団のために」

心理学やコミュニケーション学の専門家と一緒に、児童生徒・保護者・地域住民との「つながり」を追究していきます。学校現場におけるスムーズな人間関係づくりには注意すべき点や配慮すべき点が多数あります。そこで、本学教員が実際に携わった具体事例を用い、そこに専門的見地からの思考や見解も加え、日々の児童生徒指導や学級づくり、および保護者対応や地域連携等に活かせる汎用性の高い知識・技能の修得を目指します。

講習実施要領

(次頁に各実施日の内容および担当講師の紹介があります。)

実施日	講習名	時間	開催場所	対象職種	受講料	定員
平成28年8月22日(月)～ 平成28年8月24日(水)	伝え合い、理解し合う集団のために	18時間	広島県東広島市 (広島国際大学 東広島キャンパス)	幼稚園、小学校、中学校、 義務教育学校、高等学校、 中等教育学校、特別支援学 校、幼保連携型認定こども 園	18,000円	45名

受講の申し込みについて

文部科学省ホームページ 更新時期確認ページ
http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/koushin/003/index.htm

- ご自身の教員免許更新時期をご確認ください。
- 広島国際大学ホームページの教員免許更新講習に関するページより「**受講申込書**」および「**課題意識調査票**」をダウンロードし、内容を記入して、**右記の申込み先に郵送**してください。
◆ **申込期限: 2016年7月1日(金) 当日消印有効**
(※定員になり次第、締め切ります)
- 申込期限終了後、広島国際大学より受講案内を送付します。
- 講習初日に身分証明書(運転免許証等)および受講料18,000円をご持参の上、受講してください。
- 講習の最後に履修認定試験をおこない、合格された方に大学より履修証明書を発行し、送付します。

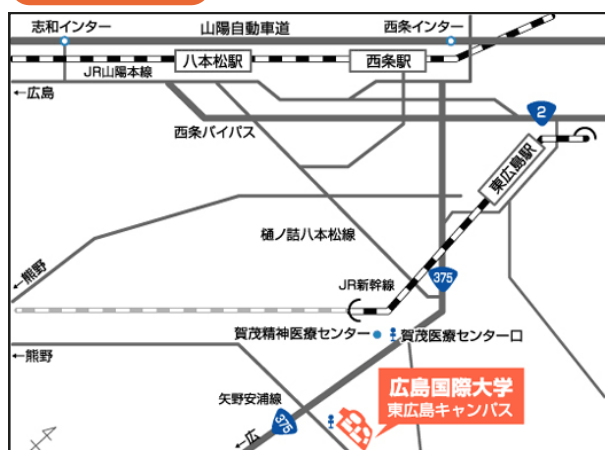
本講習は、**平成29年3月31日現在及び平成30年3月31日現在で、満35歳、45歳、55歳の方を対象**としています。
(平成29年3月31日及び平成30年3月31日に修了確認期限を迎える方)

年齢		生年月日
平成29年3月31日現在 満35歳 平成30年3月31日現在 満35歳		昭和56年4月2日～昭和57年4月1日 昭和57年4月2日～昭和58年4月1日
平成29年3月31日現在 満45歳 平成30年3月31日現在 満45歳		昭和46年4月2日～昭和47年4月1日 昭和47年4月2日～昭和48年4月1日
平成29年3月31日現在 満55歳 平成30年3月31日現在 満55歳		昭和36年4月2日～昭和37年4月1日 昭和37年4月2日～昭和38年4月1日

【申込み・問い合わせ先】

〒739-2695 広島県東広島市黒瀬学園台555-36
広島国際大学 心理学部事務室 教員免許状更新講習係
電話: 0823-70-4851 (月～土 9:00-17:00)
メール: h-jimu@hs.hirokoku-u.ac.jp

会場案内



- JRバスおよび広電バス「広島国際大学」下車(西条駅、呉駅、広島バスセンター、熊野営業所等からの最新の時刻表は各バス事業者HP等でご確認ください)。

- 車でお越しの方はキャンパス内の駐車場をご利用いただけます。

【会場】

〒739-2695 広島県東広島市黒瀬学園台555-36
広島国際大学 東広島キャンパス

8/22(月)

つながりの基礎をかためる

変化の激しい時代において、相互理解力や自己管理能力が求められるのは学級経営においても例外ではありません。そこでまずはコミュニケーションの基礎について身体も使いながら实际的に学び、続いて児童・生徒はもちろん、教師自身にとっても有用な自己管理やケアの考え方や方法についても学びます。

◆久次 弘子

コミュニケーション心理学科教授。元TV局アナウンサー。長年、広島県のこたば教育に携わってきました。先生の明るく楽しそうな笑顔と態度、言葉がけが児童・生徒を勇気づけます。先生自身がプラス思考になる演習をご紹介します。

◆大島 聖美

心理学科助教。北千住メンタルクリニック非常勤カウンセラー等を経て現職。学校での楽しいコミュニケーション・学級作りについて、実習を交えながらご紹介します。

◆田中 秀樹

心理学科教授。広島大学助手、国立精神神経センター精神保健研究所特別研究員等を経て現職。学校での睡眠教育の実践例、アクティブラーニングへの活用について実習を交えながら、紹介します。

◆森本 浩志

心理学科助教。横浜認知行動療法センターカウンセラー、社会福祉法人浴風会浴風会病院心理士を経て現職。生徒が経験する学校ストレスの考え方と対処の仕方について、実習を交えながら、紹介します。

8/23(火)

多様な生徒や保護者とつながる

対応困難な生徒が、近年増えています。それに加え、多様なニーズを持った保護者と、良好な関係を築くことも重要になっています。本講習では、発達障害をはじめとする生徒指導上の様々な問題および多様な保護者の理解と、これらの問題への対応方法の基本について学びます。

◆河本 肇

心理学科教授。保護者と良好な関係性が築かれることは、学級経営のみならず、教員自身のメンタルヘルスにも大きく作用します。保護者の理解や対応のあり方についてお話しします。

◆伊藤 啓介

心理学科准教授。肥前精神医療センター心理療法室長を経て現職。発達障害生徒への対応を中心に学校という集団場面での問題改善に関して検討します。

8/24(水)

心理学をつかって社会とつながる

学校は今後ますます地域に開かれた存在となり、児童・生徒への体験活動の充実やキャリア教育の強化なども求められています。このように学校の外や社会とのつながりについて、心理学を視点とした地域連携や専門職・多職種連携の具体的事案をもとに考察してゆきます。

◆森本 修充

心理学科教授、精神科医。思春期の生徒(主には高校生)や高校の先生方へ臨床的なアドバイスを数多く経験。これまで経験した多くの事例をもとにお話しします。

◆菱村 豊

心理学科准教授。ヒトと動物の実験心理学を専門に大学教員を20年しております。ここ数年、毎年夏休みに開催している子ども向け体験講座「体験イリュージョン!!」を再現し、学校でも使える素材を紹介します。